

第3学年	技術・家庭科				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
技術	情報の技術の原理・法則と仕組み 「ネットワークと情報セキュリティ」	1	1	○情報通信ネットワークの構成、仕組みを理解する。 ○情報セキュリティの基本的な知識を理解し、情報の安全を確保するための必要な判断や対応を学ぶ。 ○安全、安心に情報システムを利用するための対策を知る。【安全】	【知】ネットワークの基本的なしくみ、情報モラルの知識を身に付けている。 【態】ネットワークの使い方、情報モラルについて意欲的に考え、実践しようとしている。
技術	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	2	9	○双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解し、利用方法を考える。 ○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見する。 ○問題を解決するために、課題を設定し、情報処理の手順を整理し、プログラムに表す。	【思】設定した問題を解決するためのプログラムをフローチャートに表し、プログラミングを行うことができる。 【態】プログラムの構想に意欲的に取り組み、設定した問題を解決するための手順をフローチャートに表し、制作に意欲的に取り組もうとしている。
技術	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 「問題解決の評価、改善・修正」	3	1	○コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考える。	【態】学習内容を踏まえた制作のふり返りを行い、生活や社会の中で役立てようとしている。
技術	社会の発展と情報の技術	4	1	○情報の技術の最適化について考える。 ○これからの情報の技術について考える。	【思】これからの社会における技術について考えることができる。 【態】これからの技術と社会や環境の関わり方について考えを示し、実践しようとしている。
技術	社会の発展とエネルギー変換の技術	5	4	○エネルギー変換の技術の最適化について考える。 ○これからのエネルギー変換の技術について考える。	【知】技術と環境との関係について知識を身に付けている。 【思】これからの社会におけるエネルギー変換の技術について考えることができる。 【態】これからの技術と社会や環境の関わり方について考えを示し、実践しようとしている。
技術	技術分野の学習を終えて	6	1.5	○技術の見方・考え方を働かせて、これからの社会と技術のかかわりを考える。	【思】これからの社会における技術について考えることができる。 【態】これからの技術と社会や環境の関わり方について考えを示し、実践しようとしている。
家庭	6編2章 幼児の生活と家族 ④幼児の1日の生活	1	1	・幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで、幼児の特徴を理解する。	・幼児の発達と生活の特徴について理解している。(知) ・幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	6編2章 幼児の生活と家族 ⑤支えられて身に付ける生活習慣	2	1	・幼児の生活習慣がどのように身についていくのか考える。	・幼児の発達と生活の特徴について理解している。(知) ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。(知)
家庭	6編2章 幼児の生活と家族 ⑥幼児の生活と遊び	3	1	・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 ・遊び道具を作る。	・幼児にととの遊びの意義について理解している。(知) ・幼児との関わり方について理解している。(知)
家庭	6編2章 幼児の生活と家族 ⑦遊びを豊かにする物	4	1	・遊び道具について調べ、遊び道具の役割について考える。 ・幼児とかかわるときのことを想定して、絵本の読み聞かせを練習したり、簡単な遊び道具を調べたりする。	・幼児にととの遊びの意義について理解している。(知)
家庭	生活の課題と実践	5	7	・動物ぬいぐるみを製作する。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 【安全指導】 道具の安全な取り扱い	・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。(知) ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。(技) ・自分や家族、幼児の生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・自分や家族、幼児の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	6編2章 幼児の生活と家族 ⑧幼児との関わり方の工夫	6	1	・幼児との触れ合いについて、自分の課題を設定する。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える。	・幼児との関わり方について理解している。(知) ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。(思) ・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。(態)
家庭	5編2章 幼児の生活と家族 ⑨幼児との関わりを生活に生かす	7	1	・幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表する。	・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。(思) ・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について、振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	5編2章 幼児の生活と家族 ⑩子どもにとっての家族	8	1	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。	・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。(知) ・家族の立場から幼児との関わり方について考え、工夫している。(思) ・家族の立場からの幼児との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	6編3章 これからの家族と地域 ①家族との関わり	9	1	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。	・家族の互いの立場や役割について理解している。(知) ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。(知) ・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	6編3章 これからの家族と地域 ②家族や地域の高齢者との関わり	10	1	・高齢者の体の特徴を理解する。 ・高齢者の体の特徴を踏まえ、関わり方を考える。	・高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。(知) ・介護など高齢者との関わり方について理解している。(知) ・高齢者との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	6編3章 これからの家族と地域 ③地域での協働を目指して	11	0.5	・家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることに気づく。 ・地域のために自分ができることを考える。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。(知) ・地域の人々と協働する必要があることについて理解している。(知) ・地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	学習を終えて	12	1	・3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。 ・できるようになったことから、これからの生活で生かしていきたいことを考える。	・家庭分野で学習したことを今後の生活に生かそうとしている。(態)